

今日のトピック 米国株式市場のアノミーを確認
1月上昇した年のS&P500種指数の平均上昇率は13%

- 1月の米国主要株価指数は、S&P500種指数が前月比+1.6%、NYダウが同+1.2%、NASDAQ総合指数が同+1.0%と3カ月連続の上昇となりました。S&P500種指数とNYダウは2月に入ってから史上最高値を更新しています。長期金利は上昇しているものの、米景気のソフトランディングやテクノロジー業界の回復に対する期待感が高まったことでハイテク株が堅調となったことなどが背景です。ただ、予想株価収益率（PER）が大きく上昇するなど、過熱感が高まっています。今後、スピード調整が入る可能性もありそうです。
- 米国株式市場には様々な経験則（アノミー）があります。1月は月間上昇率が他の月よりも高くなりやすい（1月効果）といった事象が有名です。1月に上昇した場合、アノミーによれば年間で上昇となる勝率は80%を超えており、2024年の年間上昇率はプラスになると期待されます。一方、2月の月間上昇率は相対的に低く、勝率も12カ月中10位、ないしは11位と低い月です。
- そこで2月の動向も踏まえた場合の年間上昇率を確認しました。1月上昇、2月下旬下落の場合（ケース2）は、年間での勝率は1月だけを見たケース1よりも低下しました。しかし勝率は70%以上であり、仮に、2月にスピード調整やバリュエーション調整から下落したとしても年間ベースでの上昇は期待できそうです。一方、1月に続き2月も上昇したケース3の場合は、ケース1よりも高い上昇率と勝率が確認されました。

【図表：米国株式市場の1月、2月の月次騰落率を踏まえた年間騰落率】

			NYダウ	S&P500種指数	NASDAQ総合指数
ケース1	1月上昇	平均	11.4%	13.2%	20.8%
		中央値	14.5%	15.6%	20.6%
		勝率	83.3%	81.4%	82.4%
ケース2	12月上下昇落	平均	11.3%	9.8%	17.0%
		中央値	11.8%	11.1%	14.8%
		勝率	76.0%	70.8%	73.3%
ケース3	12月上上	平均	11.5%	15.5%	23.9%
		中央値	16.3%	19.4%	22.7%
		勝率	88.6%	88.6%	89.5%

（注）データはNYダウ、S&P500種指数は1928年12月末～2023年12月末。

NASDAQ総合指数は1971年12月末～2023年12月末。

（出所）Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフストラテジスト
石山仁（いしやまひとし）

ここも
チェック!

2024年2月 2日 米国大統領選挙年に強い米国小型株
2023年9月15日 米国株式市場のアノミーを確認

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。